

担い手の経営のライフステージに応じた支援

タイトル 晩霜および台風 18 号による梨被害のサポート

J A 名 J Aバンク熊本（熊本県）

1 動機 (経緯)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「吉野梨」ブランドの梨生産地である八代郡氷川町において、平成 27 年 3 月頃の晩霜発生および同年 8 月の台風 18 号の熊本上陸等により、着果不良・落果等の大きな被害を受けました。被害規模は産地としての平年生産量の 6 割近くに上り、被災農家および産地への影響は甚大なものとなりました。 ▶ かかる被害に対する機動的なサポートのため、日本政策金融公庫・J A やつしろ・氷川町役場と連携を行いました。
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 氷川町主催の晩霜被害にかかる被災農家への支援策説明会に出席し、被災農家専用の農林漁業セーフティネット資金（以下、「S N 資金」）の融資受付から資金実行・払出等の一連の流れの説明を実施いたしました。 ▶ 平成 27 年 3 月の晩霜に始まり、梅雨の長雨による着果不良、同年 8 月の台風 18 号等により被害状況が悪化し続ける中、円滑な対応を行うため氷川町役場との綿密な情報交換を行い、資金ニーズがどの程度の規模となるか事前に把握しました。 ▶ 日本政策金融公庫・J A やつしろとの間では、相当規模の件数となる災害資金の取扱について、資金対応の基本的な方針を事前に共有したうえで、情報連携を密に行い、S N 資金の円滑な融資に努めました。
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平成 27 年度内に、合計 34 件・70 百万円の S N 資金対応を行いました。
4 今後の 予定 (課題)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 今後の災害発生時等の資金ニーズが想定される場合においても、本件において自治体や日本政策金融公庫との連携した経験を生かし、資金相談に対してスピーディかつ的確に対応するため連携を図っていきます。 (実際に平成 28 年 4 月に発生した熊本地震後の対応でも本件の経験は生かされており、各被災地の役場・J A とともに連携して初期段階より S N 資金の被災農家への説明会へ参加するなど、災害時の円滑な対応を行っています。)